

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2024年 1～3月期の景況 / 2025年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況はわずかに低下状況にある。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATA参照)の景気動向等を把握するため、2024年1～3月期の実績と2025年4～6月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より1.6%の悪化となった。業種別では、建設業は▲28.6%から0.0%へ、製造業は▲37.5%から▲6.3%へ、小売業は▲26.7%から▲21.4%へ回復した。卸売業は▲10.5%から▲30.0%へ、サービス業は▲12.5%から▲20.0%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業及び来期設備投資を実施予定の企業はいずれも32.0%となっている。

経営上の問題点については、全業種で「従業員の確保難」や「人件費の増加」が上位に挙げられている。さらに多くの業種で材料価格などの「人件費以外の費用の増加」が上位を占めている。

DI(デフュージョン・インデックス)とは?

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に係る複数の指数を合成して算出する。

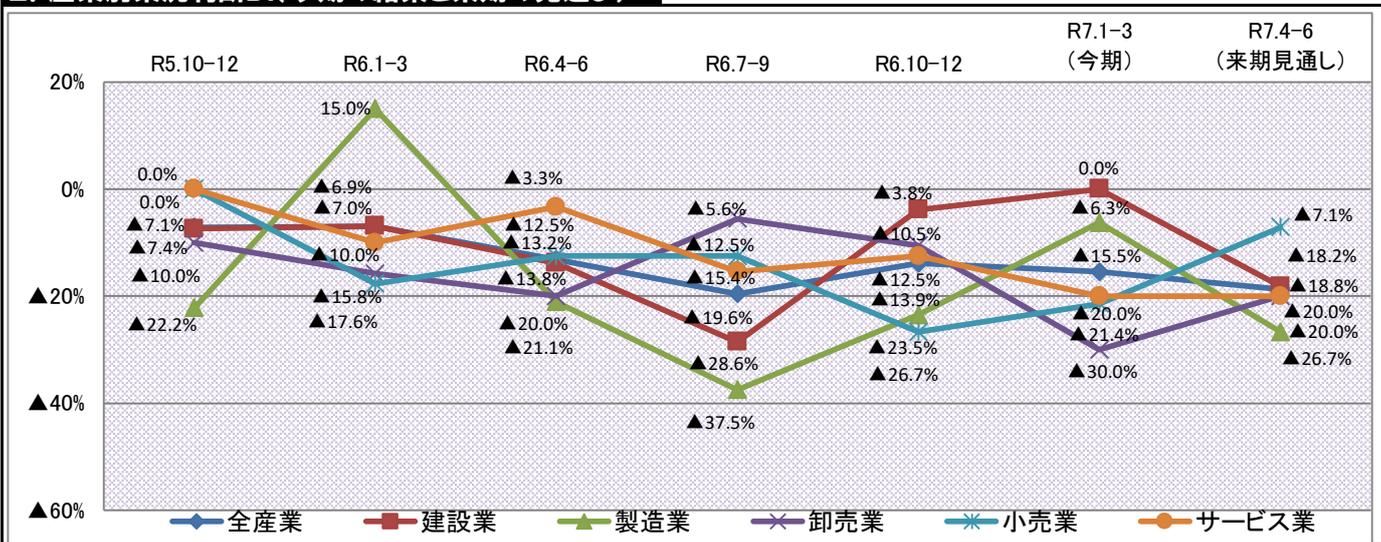
DATA

- 調査期間: 令和7年3月13日～3月21日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業127社
- 有効回答企業数: 101社(79.5%)

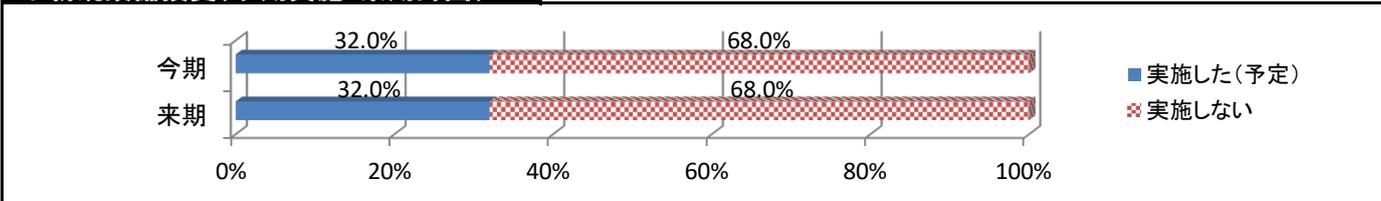
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲15.5%	▲1.6%	▲12.2%	▲5.4%	▲4.1%	▲6.1%	▲12.2%	▲0.4%	▲4.2%	0.9%
建設業	0.0%	3.8%	▲4.5%	3.1%	0.0%	▲7.7%	▲4.5%	▲12.2%	0.0%	15.4%
製造業	▲6.3%	17.3%	▲25.0%	▲13.9%	0.0%	6.3%	▲18.8%	4.8%	▲25.0%	▲19.4%
卸売業	▲30.0%	▲19.5%	5.0%	10.3%	0.0%	▲5.3%	▲5.0%	10.8%	0.0%	▲5.3%
小売業	▲21.4%	5.2%	▲20.0%	▲13.3%	▲21.4%	▲14.3%	▲20.0%	6.7%	0.0%	7.7%
サービス業	▲20.0%	▲7.5%	▲20.0%	▲15.8%	▲4.0%	▲8.2%	▲16.0%	▲3.5%	0.0%	0.0%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業		製造業		卸売業		小売業		サービス業	
1位	従業員の確保難	21.0%	原材料価格の上昇	21.4%	従業員の確保難	20.4%	仕入単価の上昇	22.0%	従業員の確保難	20.6%
2位	材料価格の上昇	16.1%	人件費の増加	11.9%	人件費の増加	16.3%	従業員の確保難	19.5%	人件費の増加	15.9%
3位	人件費の増加	12.9%	従業員の確保難	11.9%	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	14.3%	消費者ニーズの変化への対応	12.2%	利用者ニーズの変化への対応	14.3%
4位	熟練技術者の確保難	11.3%	需要の停滞	11.9%	人件費以外の費用の増加	12.2%	人件費の増加	12.2%	熟練従業員の確保難	12.7%